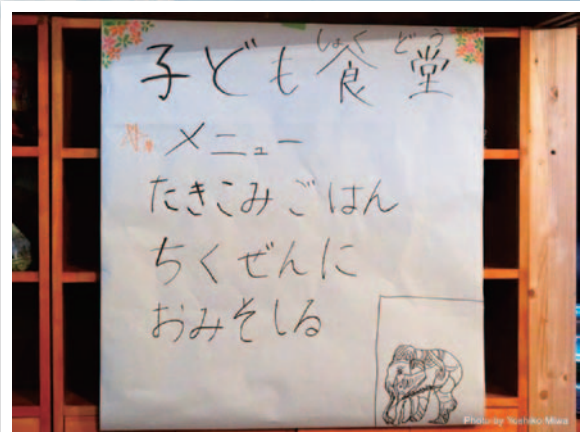




海田町でも実施を

岡田 良訓 議員

子ども食堂



質問(議員) 朝ごはんを食べている子どもと食べていない子どもでは学力に差が出ると言われており、県も力を入れて取り組んでいる。実態を調査して、子ども食堂の場所の提供をすべきではないか。

答弁(町長) 小学校5年生で3、2パーセント、6年生で2、3パーセント、中学校2年生で8パーセント、3年生で6パーセントの児童生徒が「毎日

Q 場所の提供はできないか

A 県内の取組事例を参考に調査・研究する

朝食を食べていない」、「食べない日がある」と回答している。結果として、ほとんどの学年で県平均を下回っており、各小中学校で朝食の大切さを児童生徒や保護者には伝えている。対応については今後検討し、子ども食堂の開設は、県内の取組事例を参考に調査・研究していく。

その他の質問

- 入学準備金の入学前の支給を
- 防犯カメラの増設を
- 町道6号線のバイパスは

大江 康子 議員

図書館運営



質問(議員) 利用者のアンケート結果によるその後の町の具体策は。

答弁(教育長) 要望に応じ資料の整備や、中高生向けにヤングアダルトコーナーを設置。また、町の広報誌やホームページ、館内外での掲示、チラシ配布などで行事や新刊の情報提供に努めている。

Q 利用促進を図るための方策は

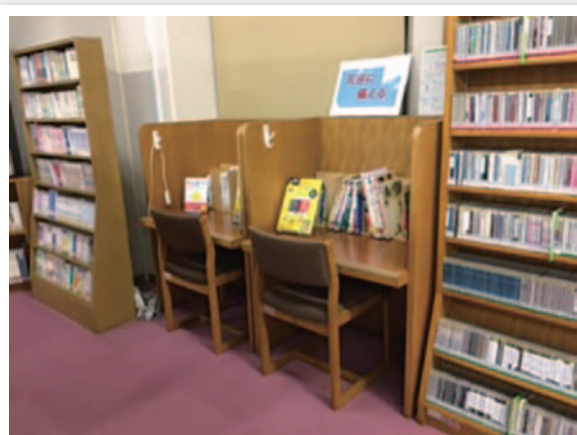
A 期待に応える運営に取り組む

質問(議員) 新年度、インターネット検索できるパソコンを購入予定だが、さらなる利用促進のため資料費の増やICタグ、自動貸出機、視聴覚コーナー(CD・DVD)、拡大読書器などを整備する考えはないか。また、利用頻度の少ない会議室の開放や、学習室の利用時間延長も図ってはどうか。

答弁(教育長) 今後の図書館の充実に向けて、総合的に考えていく。

その他の質問

- 地域公共交通会議の開催を



見たい・聴きたい、それにはCD・DVD機器



お気軽にご相談を

住吉 秀公 議員

子ども・若者支援



質問(議員) 海田町の不登校率は県平均の2倍であり、引きこもりについては実態把握もなされていない。中学卒業後は何ら支援がなされず、対象となる子どもはいわゆる「ブラックボックス」に陥り、社会から完全に孤立している。「子ども・若者総合支援センター」を設置し、引きこもり・不登校等対策事業を始めてはどうか。

Q 引きこもり・不登校等支援事業を

A どのような対応が必要か検討する

答弁(町長) 不登校支援として、適応指導教室の開設時間の拡大や相談専用電話の設置を行い、相談機能の充実を図る。引きこもり支援は、相談頂いた際に、関係機関や専門医の紹介を行っているが、教育委員会と連携し、どのような対応が必要か検討する。「子ども・若者総合支援センター」は、先進地事例を参考に調査・研究する。

その他の質問

- 学校教員の負担軽減を

大高下 光信 議員

災害対策



質問(議員) 被災者台帳は災害対策基本法において、市町村が作成することとされている。内閣府は平成26年度被災者台帳調査業務報告書を取りまとめ、先進事例集、導入支援実証報告及びチェックリストを提示している。海田町でもシステムを導入してはどうか。

答弁(町長) 災害が発生した場合に被災者台帳が作成できるよう、必要項目の整理を行った台帳のひな型を平時時から準備しており、導入は考えていない。

Q 被災者支援システムの導入を

A 現在、導入は考えていない

質問(議員) 要支援者の避難はどうなっているか。

答弁(町長) 避難行動要支援者名簿を作成し対象者を把握している。災害が発生した場合には消防団や自主防災組織に情報を提供できる体制を構築している。



いざというときに備えて